



キースタートキット

Workman® MD/MDX 汎用作業車

モデル番号 121-6338

取り付け要領

このキットは、2013年度に製造されたワークマン MD シリアル番号 313000401 - 316999999 用のための製品です。

このキットは、2013年度に製造されたワークマン MDX シリアル番号 313000001 - 316999999 用のための製品です。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行います。
2	キースタートモジュール ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{8}$ " フランジナット ($\frac{1}{4}$ ") フロントキースタートハーネス	1 1 1 1	キースタートモジュールとフロントキースタートハーネスを取り付けます。
3	ニュートラルスイッチ ねじ #4 $\times \frac{3}{4}$ " スピードナット ジャンパハーネス	1 2 1 1	ニュートラルスイッチを取り付けます。
4	リアキースタートハーネスMD および MDX アイドルねじMDX のみ スプリングMDX のみ	1 1 1	リアキースタートハーネスとスロットルボディアジャスタを取り付けます。
5	必要なパーツはありません。	—	ローアイドルの調整を行います。
6	シム	2	2次クラッチを調整します。



1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. フードを開ける。

2

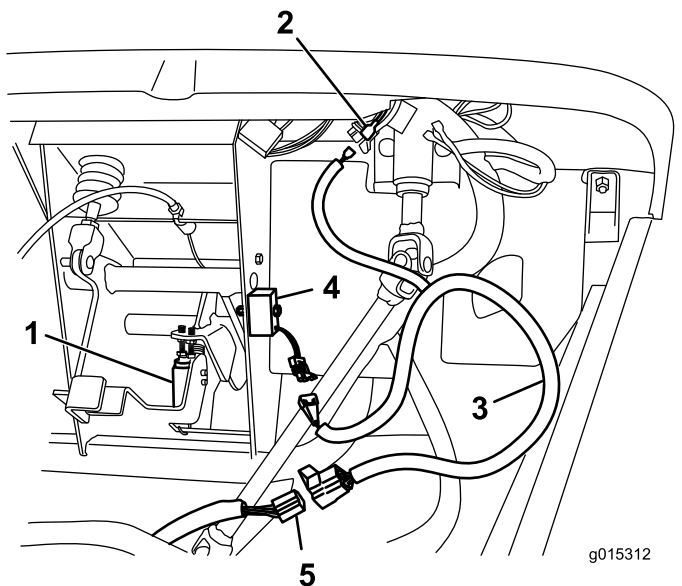
キースタートモジュールとフロントキースタートハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	キースタートモジュール
1	ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{8}$ "
1	フランジナット ($\frac{1}{4}$ ")
1	フロントキースタートハーネス

手順

1. キースタートモジュールをペダルアセンブリフレームに取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{8}$ "とフランジナット $\frac{1}{4}$ "を使用する [図 1](#)。



g015312

g015312

図 1

1. ペダルスイッチ
2. キースタート用スピードコネクタ
3. フロントキースタートハーネス
4. キースタートモジュール
5. 既存のワイヤハーネスのコネクタ

2. ペダルスイッチから既存のワイヤハーネスコネクタを外す [図 1](#)。
3. 付属部品の中からフロントキースタートハーネス [図 1](#) を探し出す。
4. フロントキースタートハーネスを、キースタートモジュールに接続し、反対側の端部を既存のハーネスコネクタに接続する [図 1](#)。
5. 既存のワイヤの中から Key Start というラベルの付いたリード線を探し出す [図 1](#)。
6. フロントキースタートハーネスのキースタート用リード線を、車両のリード線ラベルのついているものに接続する [図 1](#)。

注 コネクタが保護チューブに包まれている場合には、スリーブをカットしてからコネクタを取り付ける。

3

ニュートラルスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ニュートラルスイッチ
2	ねじ#4 x ¾"
1	スピードナット
1	ジャンパハーネス

手順

1. シートベースをフレームに固定しているボルト8本とナット8個を外す。
2. シートベースから、シフトノブとシフトプレートを外す。
3. 運転席を外す。
4. シフトアセンブリの右側にスイッチを取り付けるねじ#4 x ¾"2本とスピードナットを使用する 図 2。

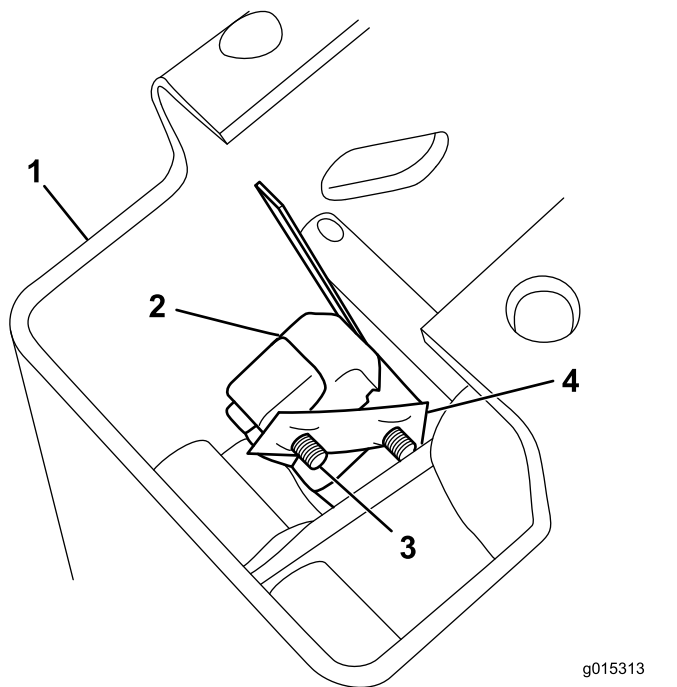


図 2

1. シフトレバーアセンブリ
2. スイッチ
3. ねじ
4. スピードナット

5. シフトレバーの近くにある車両のハーネスの青と黄色のコードとともに、ジャンパハーネスを、スイッチとコネクタとに接続する 図 3。

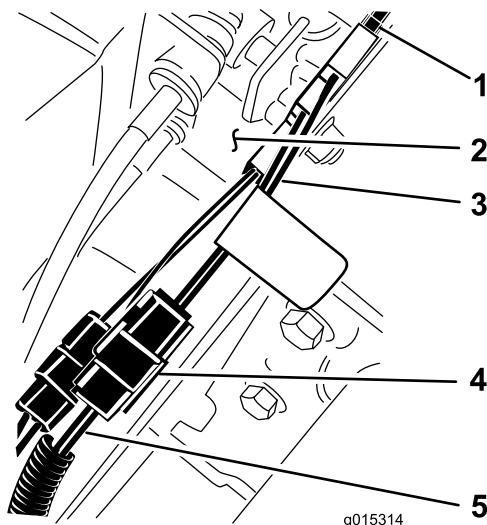


図 3

1. スイッチ
2. シフトレバーアセンブリ
3. ジャンパハーネス
4. 車両のハーネスのコネクタ
5. 黄色と青のコード

6. シートベースに、シフトレバーアセンブリと、シフトプレートと、ノブを取り付ける。
7. シートベースをフレームに取り付ける。

4

リアキースタートハーネスとアイドルねじを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	リアキースタートハーネスMD および MDX
1	アイドルねじMDX のみ
1	スプリングMDX のみ

手順

1. 荷台を上げて支持棒で支え、エンジン部にアクセスできるようにする。
2. フレームの右側に沿って取り付けられている電気配線カバーを外して、レギュレータと配線にアクセスできるようにする 図 4。
3. 車両のハーネスからレギュレータを外して、これをリアキースタートハーネスに接続する 図 4。

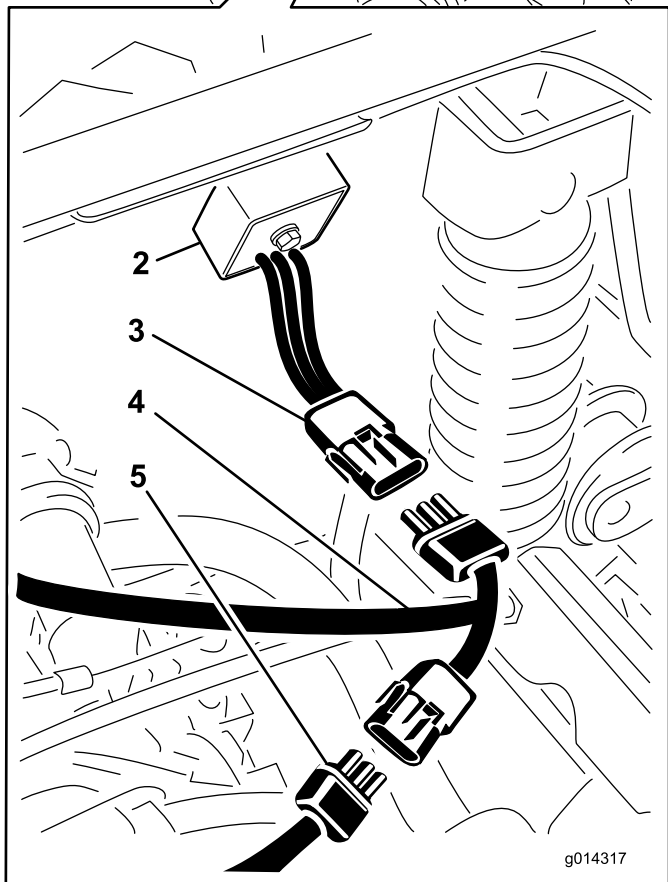
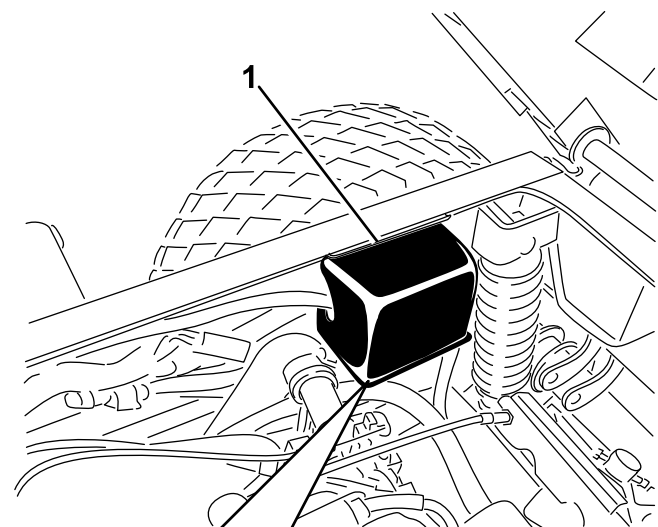


図 4

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 電気配線カバー | 4. リアキースタートハーネス |
| 2. レギュレータ | 5. メインワイヤハーネス |
| 3. レギュレータコネクタ | |

- リアキースタートハーネスを車両のハーネスに接続する図 4。
- リアキースタートハーネスをフレームに沿って既存の配線とともに配設し、エンジンの前方まで敷設する。

注 ハーネスが、エアフィルタアセンブリと車両フレームの右側との間を通るように配設すること。

- エンジンシュラウドの下側にある、エンジン点火モジュールを探し出す図 5。

注 このモジュールはエンジンアセンブリの前側端部にある。

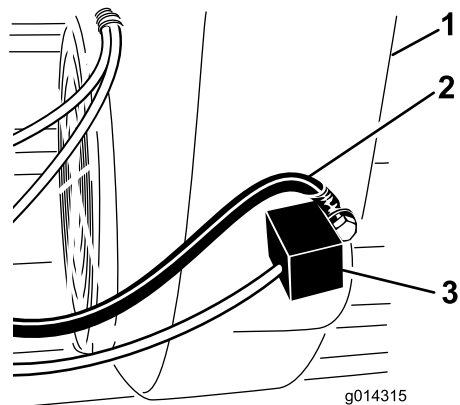


図 5

MDX の点火モジュール

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. エンジンのシュラウド | 3. エンジン点火モジュール |
| 2. 黒色のアース線リング端子付き | |

- エンジン点火モジュールからきている灰色の電線についている弾丸形のリードを外し、このリードを、先ほどエンジン前方まで配設したリアキースタートハーネスのコネクタに接続する図 6。

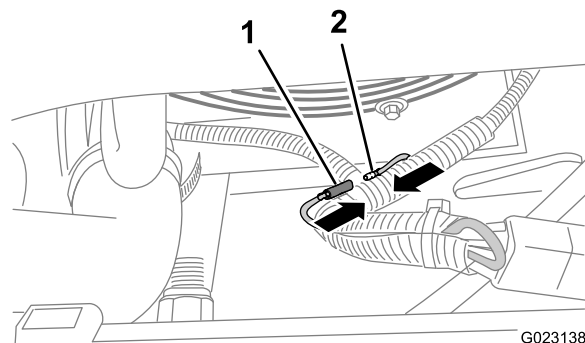


図 6

MD の点火コード

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 弾丸形コネクタメスキース | 2. 弾丸形コネクタオスエンジン点火モジュール |
|-----------------|-------------------------|

8. 灰色の電線の端部にテープを巻く。

注 この端部は何にも接続されない状態にする。
テープは絶縁のためである。

9. **MDX の場合**アイドルねじとスプリングを、[図 7](#)に示すようにキャブレターアセンブリに取り付ける。

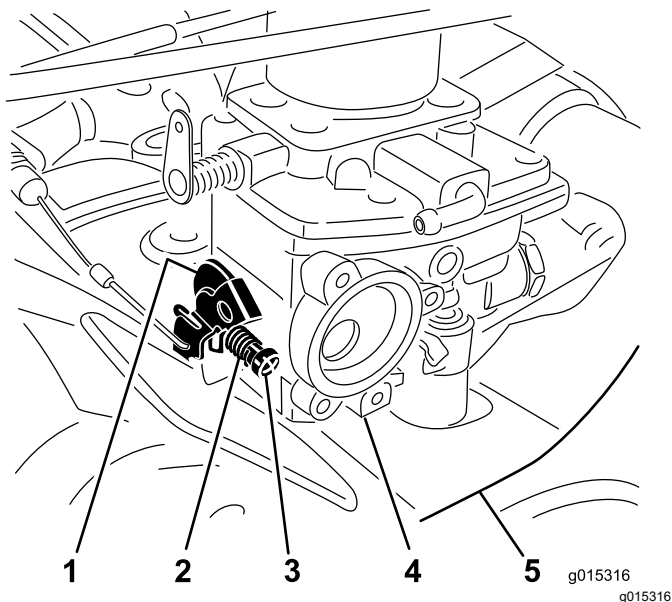


図 7
MDX のキャブレター

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. スロットルレバー | 4. キャブレター・アセンブリ |
| 2. スプリング | 5. エンジンのシュラウド |
| 3. アイドルねじ | |

10. ねじを、スロットルストップに取り付け右ねじ、スロットルレバーに最初に当たったところで止める。その位置から、さらに1回転右に進める[図 7](#)。

5

ローアイドルの調整

必要なパーツはありません。

手順

スロットルストップを取り付けたら、エンジンのアイドル速度の調整を行い、マシンがキースイッチで適切に作動することを確認する。

1. エンジンを掛ける。
2. アイドラねじを調整して、ローアイドルを 1,050 1,150rpm とする[図 7](#)と[図 8](#)。

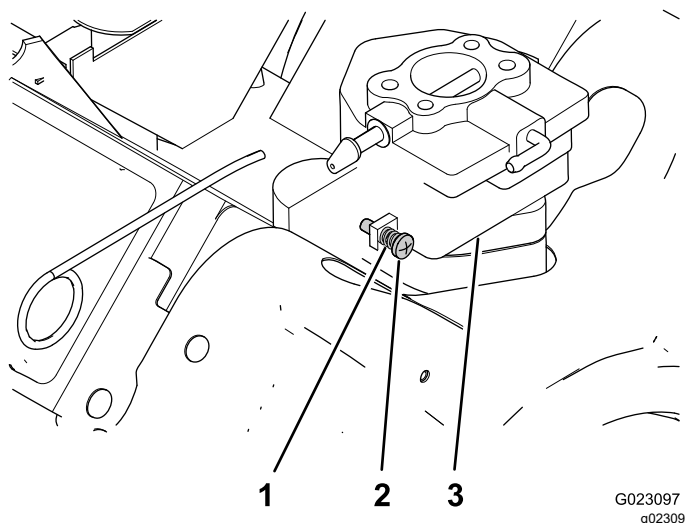


図 8
MD のキャブレター

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1. スプリング | 3. キャブレター・アセンブリ |
| 2. アイドルねじ | |

3. 荷台を元通りに降ろし、フードも下ろす。

6

2次クラッチを調整する

この作業に必要なパーツ

2	シム
---	----

手順

以上でもまだローアイドルでクリーピングする場合には、2次クラッチにシムを12枚追加してベルトのテンションをゆるめてください。

▲ 注意

マシンの運転終了直後は、マフラーや排気管が高温になっており、触れるとやけどをする危険がありますから、十分に注意してください。

キットはエンジン停止後に機体が十分に冷えてから取り付けるようにしてください。

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. 荷台を上げて支持棒で支え、エンジン部にアクセスできるようにする。
3. マフラーを排気システムに固定しているスプリング2本を外し、マフラーをフレームに固定している金具をはずしてマフラーを取り外す 図 9。

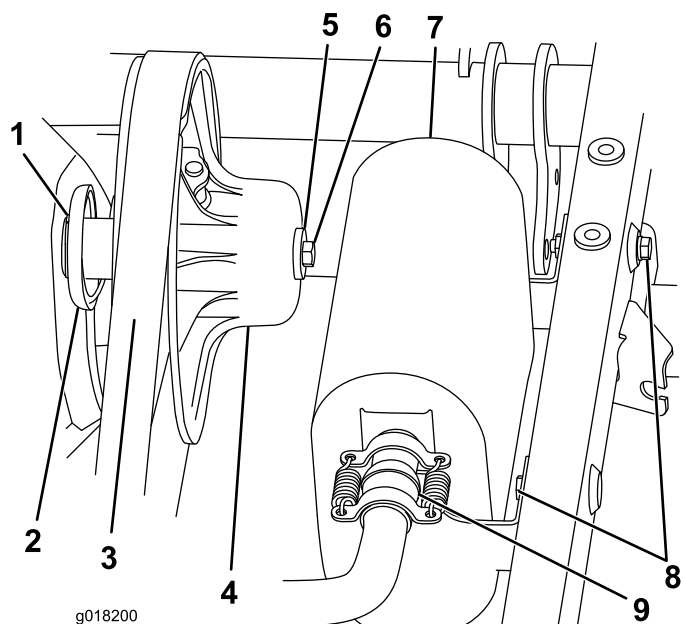


図 9

1. リテーナリング
2. 外側スプリングリテーナ
3. ベルト
4. 2次クラッチ
5. ステップワッシャ
6. ボルト
7. マフラー
8. マフラの固定具
9. ここでチューブを外す

4. 2次クラッチからベルトを外す 図 9。
5. クラッチを固定しているボルトとステップワッシャを外し、トランスアクスルからクラッチを抜き出す 図 9。
6. クラッチの向きを変える 図 10。

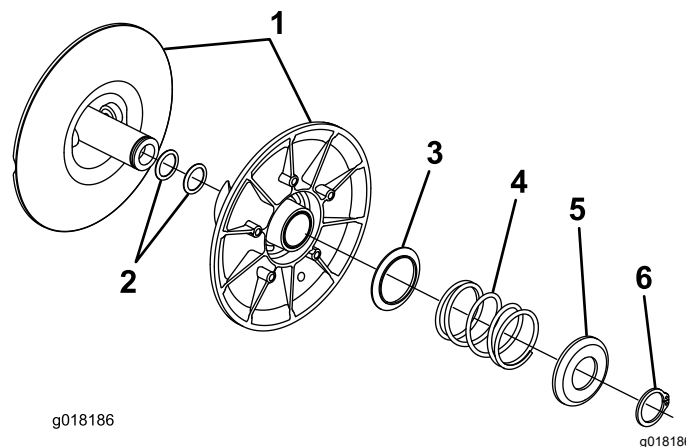


図 10

1. 2次クラッチ
2. シム
3. 内側スプリングリテーナ
4. スプリング
5. 外側スプリングリテーナ
6. リテーナリング

7. スプリング圧縮工具 (TOR-6027) を使って外側スプリングリテーナを圧縮してスプリングを内側

に押し縮めてスプリングの圧力がリテーナリングに掛からないようにする 図 10。

8. リテーナリングを外し、外側スプリングリテーナの圧縮をゆっくりとゆるめてスプリングの圧力を解放する。

▲ 注意

スプリングには大きな圧力が掛かっており、圧縮せずにリテーナリングを外すとスプリングが勢いよく飛び出してくる危険がある。飛び出した部品が人に当たると大けがをする恐れがある。

必ずスプリングを圧縮してからリテーナリングを外し、また、外したあとは慎重にスプリングをもどすこと。

9. クラッチを2つに分割する 図 10。
10. クラッチシャフトにシムを取り付ける 図 10。
11. クラッチを組み立てるスプリング圧縮工具 (TOR-6027) を使ってスプリングを圧縮した状態でリテーナリングを取り付ける。
12. トランスアックスルにクラッチを取り付け、先ほど取り外したステップワッシャとボルトで固定する。
13. ボルトを $5363\text{N}\cdot\text{m}$ $5.46.5\text{kg}\cdot\text{m}$ $= 3947\text{ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。
14. ベルトを取り付ける。
15. マフラーを元通りに取り付ける先ほど取り外した固定具を使用する。
16. 荷台を元通りに降ろして試運転を行う。

注 もし、まだローアイドルでクリーピングする場合には、上記の作業をもう一度行ってシムをもう1枚追加してください。



Count on it.